

第8回研究企画調整会議研究運営部会 議事概要

(注：本会議は個別具体の研究者や研究課題名に言及した議論が行われることから、非公開で行った。

本会議概要についても、それらが特定されない形での公表とする。)

1 日時：平成23年12月5日(月) 14:00～15:00

2 場所：食品安全委員会22階中会議室

3 出席者(8名)五十音順

圓藤 陽子(独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長)

尾崎 博(国立大学法人東京大学農学部教授)

鬼武 一夫(日本生活協同組合連合会組織推進本部安全政策推進室室長)

熊谷 進(食品安全委員会委員長代理)

小泉 直子(食品安全委員会委員長)

品川 邦汎(岩手大学特任教授)

長尾 拓(食品安全委員会委員)

◎廣瀬 雅雄(食品安全委員会委員)

(◎：座長)

4 欠席者(0名)

5 議題

(1) 平成24年度食品健康影響評価技術研究の対象領域の案の選定について

(2) その他

6 議事

(1) 平成24年度食品健康影響評価技術研究の対象領域の案の選定について

○第6回調査・研究企画調整会議において確認された「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性について」(以下「方向性について」)に基づき、平成24年度に募集する食品健康影響評価技術研究の研究対象領域について、検討を行った。

○「方向性について」を基に各構成員から提案を取りまとめたたたき台を基に、分野ごとに加筆、修正を行い対象領域の案を選定し、調査・研究企画調整会議に報告することとなった。

(検討時の主な意見)

・化学物質関連分野

→平成23年度の研究対象領域に含まれていなかった低用量暴露について含めるべき。

・生物学的分野

→平成23年度の研究対象領域に含まれていない「カビ毒・自然毒の特性解析に関する調査・研究」については、代表的なハザードについて平成21年度採択の研究を実施中であるため、24年度も含めない。

・新しい評価手法の開発に関する分野について

→平成23年度の研究対象領域に含まれていなかった「ハイリスクグループにお

ける評価に関する調査・研究」については、ハイリスクグループの要因として加齢、肥満等をキーワードとして領域に含める。「数理モデル等を用いた新しい定量的評価に関する調査研究」については、ベンチマークドースについて、平成22年度から研究を開始し、成果を確認してから他の手法を検討するとしたため、24年度も含めない。

- ・ 自ら評価や新たなハザードへの対応、緊急時対応等に必要な分野について
 - 自ら評価の対象ハザードについて、今年度中に自ら評価を開始するとされているアクリルアミドを追加し、23年度に研究が採択されたキーワードを削除する。
 - 新たなハザードへの対応の一つとして、「物理的有害要因に関する研究」を追加する。

以上